

## 分科会 10 長期実務実習元年 —実りある実習を求めて—

**W-10-02**

### 第 I 期の薬局実習受入から見えてきたこと ～日本薬剤師会が行ったアンケート調査より～

たかはし ひろし  
高橋 寛

(社)日本薬剤師会薬学教育に関する特別委員会 実習指導体制整備検討会 委員長

#### 1. はじめに

平成 22 年 5 月より、6 年制薬学教育の長期実務実習が始まった。これまでに日本薬剤師会は、長期実務実習に関してさまざまな準備を行って来た。指導薬剤師の養成をはじめ、受入薬局の整備、指導の手引きの作成、到達度測定表の作成、そして薬学会と合同で DVD を作成した。さらにはここ数年間に全国会議も数回開催するなど出来る限りの事前準備を行ってきたが、長期実務実習に対しどの程度効果的であったのかを総合的に評価する必要性を感じている。さらには、来年度の指導体制整備に向け、第 I 期の実習の実態の把握も兼ね、下記に示す目的でアンケート調査を行った。

#### 2. アンケート調査の内容

調査目的：初めて、6 年制薬学教育を受けた学生を受け入れた薬局での実習について調査し、平成 23 年度以降の受入体制整備を図るための参考資料とする。

調査対象期間：第 I 期 薬局実習（平成 22 年 5 月 17 日～7 月 30 日）

調査対象者：第 I 期受入薬局の認定実務実習指導薬剤師

記入方法：マークシート方式

調査項目：

- 大学との連携状況について
- 実習生に関する記録について
- 指導薬剤師の実習に対する意識について
- 実習中のトラブルの有無について
- 実習費用について
- 個々の到達目標（SBO）について、導入部はスムーズであったか、到達度はどうであったか、十分に実施できたか

#### 3. アンケートの集計結果と今後の活用について

当日は、アンケート調査の中間集計結果を発表するとともに、今後の実務実習の充実に対する方策等を検討していくうえでの、基本データとして活用したいと考えている。